



議会だより

No.92

2011  
1.17発行

# まのえ



新春恒例となった牧口八幡社での青壮年によるモチつきは39回を迎えた。参拜者に紅白のモチと樽酒をふるまう。

## 12月定例会

補正予算・陳報 8  
特別委員会  
情報人  
わたしのひとこと

野上中央5  
佐藤  
有司さん

P.2

P.3

P.4~5

P.6~10

P.11



平成 22 年

# 第 4 回 定 例 会

本定例会は、12月8日から22日までの15日間開催されました。

議案4件、請願2件、陳情2件、諮問1件、発議1件を慎重に審査しました。

一般会計は歳入歳出にそれぞれ4億9538万円を追加して、総額で66億2730万7千円となりました。

## 補正予算質疑

Q&A

**Q** ワクチン接種助成費の439万円が計上されているが、子宮頸ガン等で国も枠を高校生まで補助対象を拡大したが、本町も高校生まで対象にしたらどうか。

**A** 国の状況も踏まえて新年度予算には高校生まで枠を広げて助成したい。

**Q** 公債費の繰上償還金に約2億円を計上されて非常に財政状況が良い、財政にゆとりある今将来に向けた投資を考えては。

**A** 今後、統合中学建設や学校体育館等の耐震化等大型事業が控えているので将来に備えたい。

## 新年挨拶



議長 石 光 則  
大

新年あけましておめでとうございます。新春を迎えるに当り皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますと共に、日頃より九重町議会にお寄せ頂いておりますご支援・ご協力に對して心からお礼を申し上げます。

新たなページを刻むこの時に、緑豊かな地球に生き、この瞬間にしか味わえない感動を町民の皆様方と共に享受する喜びは、言葉では言い表せないものがあります。

しかしながら、世界の政治経済は依然混沌としており先行きの不透明感が払拭できない情勢であります。我が国においても、政権交代による政情不安が続いております。

国家財政・地方財政共にかつてない厳しい状況下におかれ、地方自治を取り巻く環境はますます多難となつて、その舵取りは一層難しさを増しております。

こうした中、議会としまして「日

本一の田舎づくり」に向けて、農林業・観光の振興はもとより介護保険事業、高齢者医療、教育問題や統合中学校建設等々の当面する課題を行政と一体となり取り組んでまいりたいと思ひます。

さて、昨年は、中国陝西省との交流や視察研修、各議長会主催の研修会並びに個人研修などを通じ、議会の活性化や議員個々の資質の向上に努めてまいりましたが、成果につきましては、まだまだ努力する必要があります。あろうかと思ひます。

今期の任期も残り少なくなり、二月一日告示、二月六日投票日と選挙日程も決まったようでございます。前回は無投票となりましたので有権者皆様の審判を仰ぐことができず悔いを残すこととなりましたので、今回こそは投票になればと切に願っております。

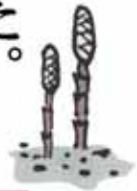
地域主権など分権型社会における地方議会の果たす役割はますます重要になるものと思ひます。町民の代表として相応しい議員の誕生を期待したいと思ひます。

結びに、皆様にとりまして、新しい年がより実り多き年になりますよう祈念して挨拶といたします。



# みなさん方の請願や

## 陳情はこうなりました。



### 請願

● 玖珠九重農業協同組合 代表理事組合長 衛藤俊弘氏からの環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉への参加反対に関する意見書提出を求め

### 陳情

● 西区区長 梅木昭次氏からの町道野上釘野線の全線拡幅工事を求める陳情は、

● 生竜区長 佐藤龍雄氏ほか2名からの「生竜橋」の架け替え工事に伴う歩道橋の設置等を求める陳情は、

例外品目を認めず10年後にほぼ全ての分野で関税を撤廃することが原則であり、参加することになれば国内農業は大打撃を受け、食料自給率も大幅に減少、農材部は壊滅状態になることからTPP交渉への参加反対は理解できるとして採択することに決定した。



通学路の安全確保が望まれる野上釘野線



生竜橋ビレーがなくなれば危険度が減少

統合中学の開校に伴い自転車等の通行の増加が予測されることから、通学路としての安全対策に配慮した改良は必要で、採択することで意見の一致を見ました。

● 九州商事より寄付された恵良の土地はPFI方式による住宅建設が予定されているが地質調査の内容等は、

● 生竜橋はこれまで危険橋梁として地元からも要望がでていたが、町民の安全安心という視点から危機管理としてどう考えているか。

● 野上ゲートボール場の住宅建設予定は棟数等を聞きたい。

### 企画調整課

● 町の将来が見える未来像を町は描いてほしい。希望がもてない町民が多くなる。今後、唯一の希望はFBKとの連携を深め物流や経済を促進し交流を進めるために町が先導的に役割を果たすべきだ。

### 農林課

● 農産委員等で新たな品目として注目されているトウガラシの取組状況と収穫状況を伺いたい。

● 補助事業で実施を考えていたが、今後十分に精査をしたい。

● 実施計画は皆さん方の意見も踏まえて検討したい。

● 今年度、後野上や木納水などで取組をした。約2反で350K以上は収穫できる予定で、全部が商品化にならない、赤一色になればいいが黄色や緑色の物もある。品種改良も含め圃場の排水対策等を考えたい。イノシシの被害は受けず優秀品目として今後高齢者の年金プラスとして拡大したい。

### 危機管理・町民安全課

### 建設課

● ポーリングは2カ所の深さ20mを予定。PFI方式で2階建て等を予定しているが基本的な地質調査で適切な事業実施に努めたい。

● 建設課の領域という認識だったので、危機管理・町民安全課としては詳しい状況を把握してないが少し実態把握に努めたい。

● 5棟の10戸を予定し、新年度で取組たい。若者の定住促進に繋がるよう事業実施を考えている。



平成21年度

# 決算を認定

## 決算審査結果の報告

### ★改善又は検討を求めるもの★

決算審査は、予算が議決した趣旨と目的に従って適正に、また効率的に執行されたか、内容を審査した。

決算審査は、予算が議決した趣旨と目的に従って適正に、また効率的に執行されたか、内容を審査した。

# 貯金は50万円 たり 53万円

平成21年度、一般会計は、歳入総額72億25,067千円で前年度対比で11.74%減、歳出総額は68億59万5千円で前年より、11.71%減となっています。

経常収支比率  
88・86%

自主財源比率  
40・4%

公債費比率  
4・4%

実質収支比率  
9・51%

(実質収支比率は町村の場合3%以下5%が望ましいとされている。20%を超えると財政再建が必要)

歳入については、町税、使用料及び手数料、財産収入や諸収入等の科目で、収入未済額が前年より増加し、1億4千2百万円を超え、前年に引き続き大幅に増加傾向にある。滞納処理は、総合徴収

に基づき使用料との解釈が収入未済となつている。大切な町民の財産である大吊橋のイメージを損なわないためにも、速やかな解決を求める。

らないようにできるだけ簡素化を図ることを望む。青少年の健全育成は、基本的な生活習慣の乱れ、直接体験の少なさ、情報メディアの急速な発展に伴う問題、希薄な対人関係など、青少年の生活実態が指摘されている。次代を担う、自立した青少年の育成に向けて、更なる施策・事業・予算付け等を期待する。

滞納処理は、総合徴収対策会議を設置して、滞納情報の共有化を図り、各課で連携して収納率向上に努力した事は認めるが、景気の悪化等もあり、増加傾向となつている。

歳出については、バス路線運行費補助金で3千9百万円補助している。前年においても、4千万円近い金額を補助しているが、交通弱者を救済する観点から、コミュニティバスや公共バス、スクールバス(25年度より統合中学校開校予定)との兼ね合いを考える必要がある。

平成21年度決算審査にあたり、総体的に感じた事は、地方の景気の底上げや企業誘致などの対策による、雇用の確保等が急務であり、大きな課題と言える。尚、詳細については担当課に指摘しており、行政効果や投資効果が最大限上るよう、強く要望して、審査結果の報告とする。

入湯税収入も、年々減少傾向にあるが、観光客数の統計上の数値からも、入湯税収入は少ないと推測できるが、いづれにしても景気が大きく影響していると思われる。

また、老人クラブ助成事業補助金は、老人クラブの育成支援であり、大いに活用していただく補助金であるが、書類作成が煩雑であり、負担にな

る。諸収入では、九重夢大吊橋物産直売所の指定管理者との年度協定に基づいた寄附金(基本協定

諸収入では、九重夢大吊橋物産直売所の指定管理者との年度協定に基づいた寄附金(基本協定

諸収入では、九重夢大吊橋物産直売所の指定管理者との年度協定に基づいた寄附金(基本協定

諸収入では、九重夢大吊橋物産直売所の指定管理者との年度協定に基づいた寄附金(基本協定

# 町民 1 人あたりの 借金は 1 人あ

## 基金

### 貯金はこれだけ

(単位:千円)

基金名	20年度末残高	21年度末残高
財政調整基金	639,185	867,302
減債基金	1,509,714	1,722,240
町有施設整備基金	1,388,082	1,504,922
ふるさと創生事業基金	558,102	540,984
福祉基金	207,456	207,456
地域振興基金	28,337	28,375
環境整備基金	50,839	50,909
ふるさと農村活性化基金	10,710	10,724
スクールバス事業基金	56,914	56,928
足立敬老基金	10,000	10,000
飯田小学校図書整備基金	9,400	9,200
飯田中学校図書整備基金	9,400	9,200
土地開発基金	139,384	139,572
特別導入事業基金	42,015	39,707
用品調達基金	10,000	10,000
災害住宅資金貸付基金	3,000	3,000
証紙購買基金	0	1,000
小計	4,672,538	5,211,519
飯田高原診療所施設整備基金	9,157	7,572
国民健康保険基金	55,644	85,729
高額療養費貸付基金	5,000	5,000
水道基金	169,204	173,407
介護保険基金	11,047	11,048
介護従事者処遇改善特例交付金	8,725	8,725
小計	258,777	291,481
合計	4,931,315	5,503,000

## 地方債

### 借金はこれだけ

(単位:千円)

資金区分	借入先	20年度末残高	21年度末残高
政府資金	財務省 財政融資資金	4,029,312	4,168,772
	郵政公社資金	1,103,482	963,670
その他	市中銀行	417,372	379,507
	その他	330,819	300,427
合計		5,880,985	5,812,376

### 収入未済総額 (滞納)

1億4,247万2千円

(単位:千円)

税目	20年度末	21年度末	増減
町税	89,472	99,855	増 10,383
分担金・負担金	4,810	4,309	減 501
使用料・手数料	10,978	12,231	増 1,253
財産収入	4,152	4,197	増 45
諸収入	4,329	21,880	増 17,551
合計	113,741	142,472	増 28,731





夜間議会一般質問

ここが聞きたい!

# 8名がズバリ町政を問う



## 特防交付金 使い方の見直しを

先に道路に充てて他のものには他の財源を充てていく



井上 里子

**井上** 本町に交付されている特防交付金は、毎年1億円〜1億5千万円前後で、17年度から21年度までの5年間の交付額は約6億円である。

その使い道は、9つの道路（四季彩ロード線、平家山線、樋の口松山線、宝泉寺栗原線作草工区、筋湯長者原線、栃木栗原線、桐木鹿伏線、麦の平中栗線、北方線）の整備に約5億円（全体の83%）、その他3つの地区集会所建設、消防車購入、消防施設整備、清掃車購入、鳴子川溪谷周辺整備、交通安全指導車購入に約1億円となっている。

本年度の交付金予算額は、12月現在9千950万円、その配分は、梅木津留下畑線整備に3千万円、栃木栗原線に2千万円、川西木納水線に200万円、釣書曲線に450万円、消防車購入に2千300万円、清掃車購入に1千万円、消防防所建築に1千万円となっている。

こうして、特防交付金の使い方を全体的に見ると、道路整備に使われる額が極めて大きい。道路が整備されれば、住民の生活は便利になり、安心の度合いも増すが、多額の特防交付金を投入して整備した道路をどれだけの住民が利用するのだろうかと思うところもある。

特防交付金の使い方が、住民の生活環境の整備に実質的に結びつくように、ここから使い方の見直しが必要ではないか。

**町長** 防衛事業については、対象となる施設の項目がある。それに当てはまらないものもあるが、住民の皆さんから、この道路とかこういうものは急いでくれとか要望があるので、防衛の交付金に当てはまるものがあれば重点的に充てている。道路でなくてもいいが、やはり先に道路に充てて、他のものは他の財源を充てていく。



藤原三治



## 大丈夫か 学力と学習態度

厳しく受け止めている。努力したい

**藤原** 町内で昨年生まれ  
た子どもは73人、死者1  
73名と少子化と人口減  
少は年々進行している。  
貴重な人材を育てる学校  
現場の学習態度と学力に  
問題があるのではないか。  
現場の実態を小・幼・  
保の保護者に周知して、  
基本的生活習慣から考え  
直すべきではないか。町  
の考えを聞きたい。

**教育長** 学力テストの結  
果は全国的に近い傾向に  
あるが、6年生について  
は、平均を上回った。「学  
力向上会議」を設置して  
共通化に向け取り組みを  
進めている。

学習態度は落ち着かな  
い状況がある事は把握し  
ている。教師と生徒、保  
護者との連携の中で、学  
校現場を支援しながら、  
課題解決に取り組みたい。

**藤原** つまづきの早期解  
消のために退職教師や地  
域の人材を活用して、補  
習を行う寺子屋教室を、  
他の町村のように九重町  
でも取り組めないか。

**教育長** 学力向上は学校  
だけでなく地域や家庭と  
力を合わせて取り組みた  
い。寺子屋教室は他町村  
の実践に学んでいきたい。



小学校の授業風景

**藤原** 平成25年春開校す  
る統合中学校の教育方針  
等の中身づくりは進んで  
いるのか。地域に残る空  
き教室や施設の有効利用  
は地域の声を聞き早めに  
検討すべきと考えるが。

**町長** 統合中学校の中身  
はその内容を建設推進協  
議会で審議していきたい。  
空き校舎の利用は何に使  
う事も可能なので、当面  
庁舎内の関係各課で検討  
をしていきたいと考えて  
いる。

佐藤勝憲



## 中国陝西省との交流について

成果はあったと考えている

**佐藤** 今年九月に中国陝  
西省林業庁において、環  
境保護協定を結び今後の  
中国陝西省との交流がう  
まく行くとは思えない。  
トキの問題にしても、  
九重町にはトキの住める  
場所はない。平成5年に  
始めた韓国との人材育成  
事業の成果も未だ見えて  
ないようだ。

公費を使ってまで中国  
陝西省との交流をする事  
はないのではないかと？  
尖閣諸島の問題等も懸念  
される状況の中で、国と  
の交流も無理な事ではな  
いだろうか？

陝西省との交流事業は、  
先の見えない事であり、  
この事業については検討  
するよう公費を使うのな  
ら後々役に立つ生きたお  
金を使ってもらいたい。



環境保護協定の調印式に臨む

**町長** 陝西省林業庁と結  
んだ環境保全保護協定の  
中身については、13億人  
の中国と子ども達の人材  
交流を行いたい。

二つ目は、陝西省林業  
庁とのインターネット交  
流を行いたい。九重町で  
はNPOトキプロジェクト  
があり、民間レベルで  
対応していきたいと思っ  
ている。九重町が誇る自  
然、環境資源を生かした  
個性と夢シリーズで活気  
を帯びている町の方向、  
テーマをトキの住める町  
づくりで定め、「安心安  
全な九重町」として今後  
農業の面で効果をあげて  
いきたい。韓国との人材  
育成カッコウの翼につい  
ては異文化にふれ、その  
後の交流もでき、一定の  
成果があったと考えてい  
る。

町は環境に優しい町づ  
くり、減農薬農業や合  
併浄化槽推進に力を入れ  
ていきたい。子ども達に  
もその気持ちを伝え、中  
国の古い歴史や文化を学  
び夢を育んでもらいたい  
と考えている。



## 主要農産物の実績と 今後の振興策について

生産コストを下げ、経営の安定に努める



坂本 憲治

**坂本** 本年度の主要品目の実績を、どの様にとらえているか。

**町長** 今年は、低温・長雨・高温と果樹等は減収であった。米は平年作だが価格が引き下げられた。肉用牛は4月の口蹄疫が心配されたが、現在は昨年より高値の状況。トマトは収量は減少だが高値で取引された。白ネギは

生産額は昨年を上回っている。生椎茸は生産者の減少で下降線をたどっている。花は昨年より高値で生産額は上回る。果樹は晩霜で生産額は大きく落ち込んだ。高齢化で生産者は年々減少している。

省力化や機械の導入を図り、生産コストを下げ、経営の安定に努める。



TPPにも影響されない有機農業

### TPPの対応は

#### 国の対応を見ながら対応する

**坂本** 実施されれば農業だけでなく町が崩壊する。プロジェクトチームを立ち上げ対応すべきではないか。

**町長** 十分に理解している。全国町村会でも反対決議をしている。国の動向を見ながら対応する。

**坂本** 商品券事業により町内の商工業を守る運動を起こすべきでは。

**町長** 長引く不況を少しでも緩和していくため、町内消費に結び付く商品券事業は必要と考えている。

安部 武己



## 官民一体での町づくり



九重“夢”創造塾主催のまちづくり講演会に多くの人が訪れた

**安部** 少子高齢化が著しく進んでおり町合併当時から日本の人口は大きく膨れてきた。今後は人口減の時代に入り、スピードも早く地域格差は大きくなり、将来生き残れる地域に成る為にも官は官民は民ではなく、官民一体で取り組むこと、特に今官民格差は広がっており又九重町においては、人材、情報、IT化等町役場が一番持っている。民間には大きな企業も無く、長い不況の中、農・商・工・観光業者等あえている。今こそ町長・

議員・職員が率先垂範して民を引っ張って官民挙げての町づくりを。又、町長は日本一の田舎づくりを提唱している。来年度は田舎づくりの特別枠の予算を2・3千万先行投資をしていただきたい。

### 庁舎の有効利用について

庁舎は町の中心にあり、町民の一番利用する施設で、建設当時は職員184人、議員が18人。現在職員150人、議員13人と減少している。

将来人口が増え、職員も増え今後庁舎が手狭に成るとは考えられない。今有る各種事務局を利用しやすい庁舎に置き、又いろんな利用を考え、有効利用していただきたい。



日野 康志



## 地区協議会に活力を 地域全体の活動として

**日野** 地区協議会は、発足したばかりだが、青壮年が復活している状況もあり、共に協力できる体制を構築すべきでは。

**町長** 地区協議会には、役場の職員も在席しており、地域の課題をどう解決していくか、それぞれの立場で提案し議論して、活動する事が大切だと考えている。また、野矢地区では地域活性化協議会に青壮年も含め、地域全体で活動している。これは一例であるが、地区それぞれの特徴を生かした町づくりを今後も進めていく。

また、社会教育の一環として、青壮年活動や出張公民館等で支援体制が出来るよう行政も協力して、明るい未来を構築していく。

### 住宅事業の 新方式は

**日野** 地域活性化住宅事業であるが、方法はいろいろあると聞いている。町有地に、民間で建築す

る事も有効と考えるが、民有地に民間が建築できる様にもするべきと考えるが。

### 活性化事業として 早急に対応

**町長** 地域活性化住宅事業「PFI」は、町有地や民有地でも十分可能と考える。これから、いろいろな事例を調査研究し、九重町に合った住宅事業にしていく。  
また、これまでも指摘があったように、スピード感をもった事業として進めていく。



PFI方式での住宅建設予定地（町有地）

江藤 一幸



## 地区協議会へ500万の補助を！ 計画しだいで考える

**江藤** 町内4地区で協議会が設置された。切磋琢磨し個性を伸ばす活動をしたい。将来はNPO法人非営利団体へとステップアップを。

地域づくり活性化の予算として、各地区協議会へ思い切って500万づつの補助をされてはどうか。

**町長** 最初から荷を掛けることは、世話をする人にも、いろんな負担が行く、真剣に皆さんが考えれば、素晴らしい計画が出てきていきたい。

### 宿泊増の対策は

**江藤** 観光業者、宿泊施設関係者は、吊橋効果が感じられない。通過型の観光地として確立、宿泊40万人は少なすぎる。

この宿泊を増す方策・対策はどう考えているか。

### 滞在を推進

**町長** 新幹線活用久大本線活性化会議を関係市町村で立ち上げ、公益的な観光振興を推進したい。観光協会や、「夢」創造塾と連携し、滞在につながるよう推進する。



東飯田地区協議会主催の講演会に聴き入る地区民



## 町有地(空地)の有効活用は

### 活用をはかる



小川 克己

各種委員活動しやすい環境づくりは

今少しポラン  
ティア精神で



空き地が目立つ町有地

**小川** 町有地や施設で遊休地がある。釣住宅等では空き地の方が多い。PFI方式等を導入し、民間による住宅建設を促し若者の定住促進を図る考えは。

**町長** 行政財産は転換しにくい面もあるが、釣住宅等は当初19戸あったものが今は5戸になっており、団地の用途廃止や移転等も検討したい。

**小川** 各種委員の活動はそれぞれに取り組まれているが実態に見合うような報酬引き上げ等の助成を図り、地域づくり、人づくりの輪を広げて行くべきと考えるが。

**町長** 各種委員の報酬見直し等については、自律推進計画の中で下げて来た。近隣の町との関係もあり今少しポランティア精神で頑張ってもらいたい。

### 行政区への 加入促進は

加入促進に努める

**小川** 各地区で自治区に加入していない人が2割と聞く。加入を促進し、地域活性化や税等の収納率向上に努めるべきと考えるが。

**町長** 行政区の加入は任意で強制はできないが、指摘されるような問題もあることから今後、自治会組織の必要性を含め加入促進に努める。

## 鎖国が開国が

2010年

## TPP実施、その時歴史は変わる?

九重町議会  
玖珠九重、飯田農協 反対意見書提出

環太平洋パートナーシップ (TPP) 参加に伴う影響額 (県の試算による)

品名	数料	影響率	金額	備考
米	797 ha	90 %	6億1,300万円	有機米、掛干し米、有望
子牛	1,600 頭	50 %	2億6,300万円	
肥育牛	253 頭	75 %	1億3,200万円	
雑子牛	260 頭	75 %	1,200万円	
乳製品	4,582 頭	100 %	4億2,900万円	
豚肉	9,982 頭	30 %	8,400万円	九重夢ポーク等、有望
合計			15億円位となる	



# わたしのひとこと

## 野上地区に光を

野上中央五

佐藤 有司さん



九重町でも、少子高齢化に拍車がかかり、経済状況は手の打ちようの無い厳しい状況になっています。特に、野上商店街にあった店も昨年末には撤退し、地域のお年寄りは、現在の車社会から取り残され、生活さえ脅かされています。この事を考えるとき、私たち世代が何とかしなければなりません。皆生活するだけで精一杯の状況で、どうしてよいかわかりません。こんな時こそ、町と住民が一緒になつて知恵を出し合い、協力することが必要ではないでしょうか。

大吊橋では、昨年の11月6百万人を突破し、入場者収入だけでもかなりの金額

が入っており、行政の財政状況は安定していると聞きます。資金を入れるだけで地域が活性化するとは思いませんが、地域復興には資金と知恵と多くの人の協力体制が必要ではないと思います。

野上地区にも、地区協議会が発足し、新しくなった豊後中村駅を活用する為に、中心的な活動をしていると聞きます。中村駅を中心とした新しい町づくりを商店街の復活も含め、ぜひ地区協議会で取り組んでほしいと思います。



豊後中村駅を中心に地域づくりを

## 自然の脅威を

改めて

飯田 中村上

時松 亜衣さん



近ごろだいぶ寒くなり、毎日の通勤も大変になりました。去年の3月に買った車のタイヤもスタットレスに替えて雪がいつでも降っていいようにしていました。が、いざ雪が降ると運転が怖いなあと改めて感じます。

とくに夜の運転は雪で道が見えにくく、人が通っているのがわかりにくいので注意をして運転しています。飯田は歩く人をよく見かけるので十分注意する必要があります。と思っています。

また、スキー場がオープンしたりと、観光客が多くなり、運転するのも対向車が多くなってきているよう

な気がします。タイヤを替えたからといって安心して運転できるわけではありませんが、なるべく夜などは運転しないように気を付けようと思います。運転するときは基本ですが、車間距離をしっかりとあけるとか、早めにブレーキをふむなどを守って運転したいと思います。

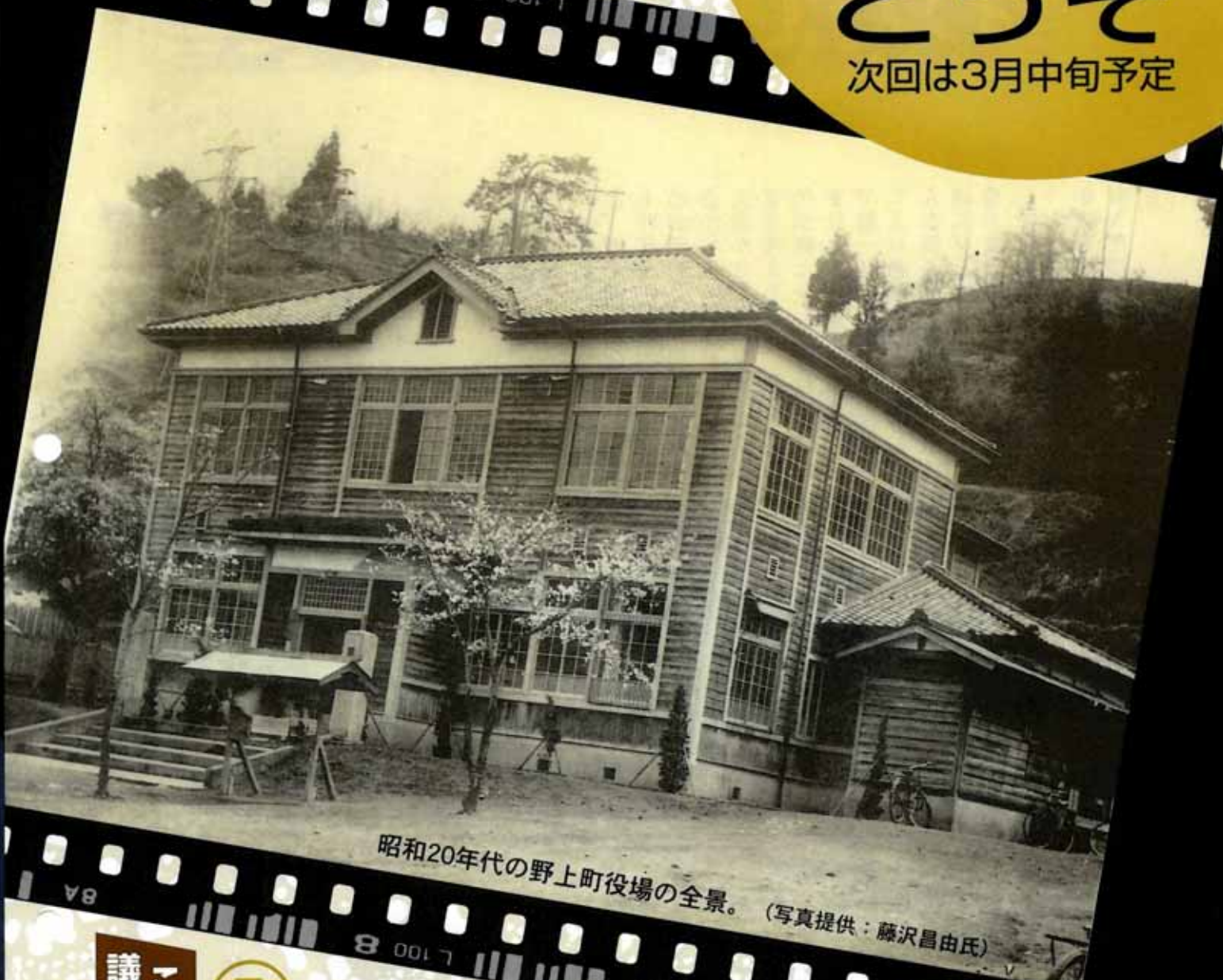
みなさんも運転するときには基本を守るとより安全に運転できますし、周りの人に迷惑をかけないような運転が出来るといいと思います。



記録的な大雪に見舞われ苦労するドライバー



次回は3月中旬予定



昭和20年代の野上町役場の全景。(写真提供：藤沢昌由氏)

議  
会  
だ  
よ  
り  
こ  
の  
え  
NO.92号



発行/九重町議会  
編集/議会広報特別委員会  
平成23年1月17日  
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1  
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809  
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

お手持ちのなつかしい写真をお貸し下さい

## 編集後記

今年には統一自治体選挙の年、地域主権改革が進む中、議会のあり方が問われている。地方自治は住民が選挙で選んだ首長と議会の「二元代表制」で支えられているが、首長と議会、議会と住民の関係が厳しく問われている。

まったなしの議会改革、議会が変わればまちも変わる。私たちも改選を迎え新たな挑戦をしなければならぬと思っている。4年間の「愛読」に感謝しながら、今後ともよろしく願います。

小川 克己

- ・ 広報委員長 竹尾 允文
- ・ 副委員長 藤原 三治
- ・ 委員 小川 克己
- ・ 委員 江藤 一幸
- ・ 委員 佐藤 博美
- ・ 委員 日野 康志